

視察研修

9月14日(日) 東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊（通称：ハイパーレスキュー）と本所防災館を訪問し視察研修を行いました。

ハイパーレスキューの施設では部隊の活動記録を映像で視聴後、格納庫に移り配備されている車両の説明を受けながら見学し、部隊の活動訓練を見学しました。

参加団員は普段地元の消防署では見る事の出来ない特殊な車両を前に、隊員の方々に色々と質問をしていました。午後は場所を本所防災館に移して、様々な防災体験をしました。

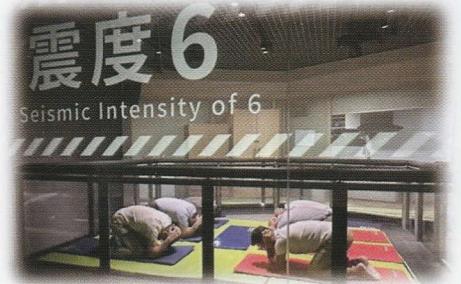
最近各地で発生している暴風雨の体験をはじめ、煙体験・地震体験・都市型水害体験をし、地震体験では起震車と違い過去の震災の揺れをリアルに再現しており、迫力のある揺れに立つことはおろか座っている事さえ困難な揺れで、ダンゴムシのポーズでじっとしている事だけしか出来ませんでした。



煙体験



暴風雨体験



地震体験

緊急自動車走行訓練

9月22日(月) 全国秋の交通安全運動に併せて、大泉自動車教習所に於いて、緊急自動車走行訓練を実施しました。石神井消防団には各分団に1台ずつ計10台の可搬ポンプ積載車が配備されており、災害時に緊急走行させる機会が増えたことに伴い、緊急時に安全に災害現場へ急行出来ることを目的に行いました。



地域のイベントへ参加

各分団の受け持ち区域内で行われた盆踊り大会などのイベントに参加をして、警戒活動と広報活動を行いました。

